

信州の木活用モデル地域支援事業の選定について

県産材利用推進室

対象事業を3月から5月までの約2ヶ月の期間で募集したところ、10件の応募があり、選定委員会を5月18日に開催しました。
 審査の結果、内容の優れた上位5位までを採択し、所定の手続きを経て、事業がスタートしています。

【経過等】

- 事業募集を H28.3.15～5.9の期間で実施し、10件の応募。
- 審査要領に基づき、選定委員会を開催して審査を実施(5月18日開催)。
 (選定委員は観光部職員1名、林務部職員4名、外部有識者1名)
- 選定委員会での順位付けに基づき、予算の範囲内で補助金交付先を選定。
- 選定方法については、昨年度の「みんなで支える森林づくり県民会議」での意見を踏まえ、従前の「審査後に県民会議で意見聴取を経たうえで選定する」という方法から、「選定委員会に県民会議のメンバー1名(植木座長)を加え、外部有識者の視点を取り入れた審査を実施し、その結果について県民会議に報告する」という方法に変更(要領改正)して、審査を実施。
- 事務手続きを経て、6月3日付けで該当する地方事務所へ内示するとともに、応募者へ審査結果を送付。
- 実施箇所の決定について、6月6日付けでプレスリリースを実施。

【参考】

- 1 事業の趣旨
 地域が主体となり、里山の森林資源を木質バイオマス利用や市街地の木質化、道の駅等での販売などに活用する先進的なモデル地区を支援することにより、森林資源の持続的活用を図る。
 (森林づくり県民税の用途の「見える化」を図る事業)
- 2 事業主体
 市町村、公共的団体、林業関係団体、NPO法人等
- 3 補助率
 10/10以内(定額) ※1地区につき2,500千円を上限とする。
- 4 事業内容
 供給から消費まで地域が一体となって取り組む以下のモデル的な取組
 ①地域分散型木質バイオマス等利用促進モデル(住民自主参加型)
 ②木の香り漂う街並みづくりモデル(都市部活用型)
 ③県産材・道の駅等販売促進モデル(")
- 5 予算額
 12,500千円(5地区を予定)
- 6 実施箇所選定根拠
 信州の木活用モデル地域支援事業審査要領

平成28年度 信州の木活用モデル地域支援事業 最終選定順位表

※全体順位○印が、採択予定案件

木の香り漂う街並みづくりモデル	同モデル内 順位	全体 順位	事業主体 (所在市町村)	事業名 (実施箇所)	事業内容	備考
	①	2	伊那谷アライアンス (伊那市)	木と巡りあう17(いな)の物語 (伊那市)	地域材を活用した空き家のリノベーションやコミュニティスペースの木質化により、木が当たり前にある文化・地域をブランディングし、木に囲まれたライフスタイルの提案を行う。	空き家のリノベーション、コミュニティスペースの木質化を背景とした取組は斬新であり、活動そのものに訴求力がある。
	2	7			県産ヒノキで製作した看板を商店街の街路灯51基に設置し、木の香る環境を整備する。	商店街の街並みに木製看板が並ぶ景観はインパクトがあり、情報発信性は評価できるが、新規性や継続性・発展性で点数が不足。
	3	9			多くの来場者が想定される施設へパーテーション設置することで県産材のPRを図る。	確実性や施設利用者の利便性向上といった公益性は評価できるが、地域の主体性や継続性・発展性で点数が不足。

県産材・道の駅等販売促進モデル	モデル内 順位	全体 順位	事業主体 (所在市町村)	事業名 (実施箇所)	事業内容	備考
	①	1	小谷村キハダ生産組合 (小谷村)	kihada黄金の樹プロジェクト (小谷村)	村内に豊富に存在する広葉樹(キハダ)の有効活用を推進するため、机や木工製品の製作・展示等を通じた普及活動を行う。	地域内の様々なネットワークで木材を有効に活用し、産業化につなげて、地域の活性化を目指す取組は、モデル性が高い。
	②	3	木曾町	旧上田小学校を活用した木工ワークショップ、木育キャラバンの開催 (木曾町)	閉校となった旧上田小学校校舎を、将来的に『木曾おもちゃ美術館』、『木工作家や伝統工芸のシェアラボ』として活用していくための基盤づくりとしての事業を実施する。	地域で課題となっている小学校跡地の有効利用を地域産業と絡めて構想を練っている点で評価できる。
	③	4	NPO法人 桶仕込み保存会 (長野市)	OKE(おけ)のわプロジェクト (長野市、木曾町)	木桶を使う文化の再生と桶作製技術の継承を図るため、県産材の大桶等を作製し、桶仕込みのPRを行う。	木材関係者のみでなく、味噌、醤油、酒、漬物等の異業種と連携した取組はインパクトがあり、PR効果も期待できる。
	④	5	産湯桶でウッドファースト協議会 (南木曾町)	ウッドファーストから木曾五木に触れる製品開発 (南木曾町)	産湯桶の開発・普及を行うことにより、伝統技術の桶・樽の技術を後世に引き継ぎ、木曾五木を利用した桶・樽の需要拡大を図る。	多くの関係者を巻き込んで産湯桶の開発や木桶全般の普及・PRを行う発想は新規性もあり、訴求力がある。
	5	6			地域内の森林資源を活用した木づかい運動の一環として、地域内外でPRする際のアイテムの拡充と、近年増加している自転車愛好者を主なターゲットとしたアイテムの設置を実施し、木づかい推進を図る。	様々な木製品の各種イベントへの出展や店舗前への設置は、情報発信性はあるが、継続性・発展性で点数がやや不足。
	6	8			地域材を使用したミニチュア住宅(5寸角部材)を作製し、組み立てる体験や、木の住まいを魅力的に伝えるイベントの開催を通して、木の住まいの魅力を体験的に伝える。	地域材の利用拡大という公益性については評価できるが、既に実施されている取組の追加的内容であり、新規性で点数が不足。
	7	10			県産ヒノキを用いて自社で開発した「木製ベンチ」を地域の行政施設に寄贈し、市民に広く貸し出してもらうことにより、県産ヒノキの良さをPRする。	地域材を活用した製品であり、情報発信性については評価できるが、地域の主体性や新規性で点数が不足。



平成 28 年度信州の木活用モデル地域支援事業の実施箇所を決定しました

地域が主体となって里山の森林資源を活用する先進的な取組を支援する「信州の木活用モデル地域支援事業」の平成 28 年度の実施箇所を、以下のとおり決定しました。

1 事業名

平成 28 年度信州の木活用モデル地域支援事業（長野県森林づくり県民税活用事業）

2 事業内容

地域が主体となって里山の森林資源を活用する先進的な取組で、以下の（１）から（３）のモデルのいずれかに該当するもの。

- （１）地域分散型木質バイオマス等利用促進モデル（バイオマスモデル）
- （２）木の香り漂う街並みづくりモデル（街並みモデル）
- （３）県産材・道の駅等販売促進モデル（販売促進モデル）

3 事業実施箇所一覧表

事業主体	事業名 (実施地域)	事業概要	(対象事業費) 補助金額 (円)	モデルタイプ
伊那谷アライアンス (伊那市)	木と巡りあう17(いな)の物語 (伊那市)	地域材を活用した空き家のリノベーションやコミュニティスペースの木質化により、木が当たり前にある文化・地域をブランディングし、木に囲まれたライフスタイルの提案を行う。	(2,600,000) 2,500,000	街並みモデル
産湯桶でウッドファースト協議会 (南木曾町)	ウッドファーストから木曾五木に触れる製品開発 (南木曾町)	産湯桶の開発・普及を行うことにより、伝統技術の桶・樽の技術を後世に引き継ぎ、木曾五木を利用した桶・樽の需要拡大を図る。	(2,500,000) 2,500,000	販売促進モデル
木曾町	旧上田小学校を活用した木工ワークショップ、木育キャラバンの開催 (木曾町)	閉校となった旧上田小学校校舎を、将来的に『木曾おもちゃ美術館』、『木工作家や伝統工芸のシェアラボ』として活用していくための基盤づくりとしての事業を実施する。	(2,500,000) 2,500,000	販売促進モデル
小谷村キハダ生産組合 (小谷村)	kihada黄金の樹プロジェクト (小谷村)	村内に豊富に存在する広葉樹(キハダ)の有効活用を推進するため、机や木工製品の製作・展示等を通じた普及活動を行う。	(2,500,000) 2,500,000	販売促進モデル
NPO法人 桶仕込み保存会 (長野市)	OKE(おけ)のわプロジェクト (長野市、木曾町)	木桶を使う文化の再生と桶作製技術の継承を図るため、県産材の大桶等を作製し、桶仕込みのPRを行う。	(2,534,000) 2,500,000	販売促進モデル
合計			(12,634,000) 12,500,000	

4 これまでの取組状況

平成 25 年度から平成 27 年度に実施した取組について、以下の URL からご覧いただけます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/sangyo/ringyo/kensanzai/katsuyomodel-top.html>

この取組は、しあわせ信州創造プラン（長野県総合 5 か年計画）の政策推進の基本方針「1 『貢献』と『自立』の経済構造への転換」に基づくものです。

イベント満載 今年の信州 !!

- 第 67 回 全国植樹祭ながの 2016 (6月)
- プレ信州デスティネーションキャンペーン (7月～)
- 国際フラワーフォーラム 2016 (7月)
- 第 1 回「山の日」記念全国大会 (8月)
- G7 長野県・軽井沢交通大臣会合 (9月)
- 第 72 回 国民体育大会冬季大会 (1月)

しあわせ信州創造プラン（長野県総合 5 か年計画）推進中

信州の木活用課 県産材利用推進室
 (室長)春日 嘉広(課長補佐)千代 登(担当)日誌 究
 電話 026-235-7266 (直通)
 026-232-0111 (代表)内線 3275
 FAX 026-235-7364
 E-mail mokuzai@pref.nagano.lg.jp